

## 持続可能な地域社会を形成するための地誌学習

社会科専修・川瀬久美子

### 1. 授業の概要

本授業の目的は、自然と共存する社会形成に必要な知識を学び、自然地理学的な環境理解を私達の社会・文化生活に関連づけて身に付けることである。

授業は以下のように、予習>>答え合わせ・解説>>演習 の手順で進め、時間外学習として必ず予習をして授業に臨むように指示した。まず、事前に次の授業の内容の要点を整理したプリント（A4サイズ1枚）を配布し、教科書を参考にしながら空欄（主に地理学用語、しばしばグラフや図の読み取り）に記入してくるよう指示する。実際の授業では、冒頭5分ほどで教員が受講生を指名して全体で答え合わせをする。その際、プリントの記載に沿って教員が事項の解説を行う。答え合わせの後、パワーポイントを用いて、教科書の図表や教員の用意した地理写真を提示し、受講生の理解を深めた。残りの時間（1時間ほど）で、資料映像の視聴（7回）や地形図の読図（3回）、いくつかの課題（火山灰層序の模擬課題、水資源問題の解決など）を行った。映像視聴や読図・課題討議にはワークシートを用意し、思考の言語化を図った。

受講生は19名（1回生18名、4回生1名）で、学期末に授業に関する無記名のアンケート調査を行い、18名から回答を得た。

### 2. アンケート結果

1) この授業を通して身についた知識・技能・能力

- ・愛媛の川の名前と位置
- ・地理の基本的な知識
- ・地図をみたり、図をみて特徴をよみとる力
- ・愛媛県の地理についてたくさん知ることができた。日本だけでなく国外も。
- ・身近な地形について考えることができた。
- ・自然地理に関する関心、地盤の知識
- ・自然地理のしくみを少しずつ勉強できた。
- ・地理や植生、水についての知識

・「自然」という観点で外の世界を見る力  
・地理学がどういう学問かあまり知らなかったの、地理学がどんなものかというのがわかった。

・地形の特徴

2) 動画資料の資料について

今期は動画資料を授業時間内に一齐に視聴したが、moodleに動画資料をアップしておいて、予習として授業時間外に視聴するという方法もある。視聴方法について、①～③のうち一つを選択させ、その理由を記述させた。以下、( )内の人数が選択者で、理由を転記する。

①時間外学習として見たほうが良い（2名）。

・どうしても寝てしまうことが多々あったので、moodleでみた方が授業時間で様々な知識を入れられると思うから。

・授業中だと寝てしまいそうだから。

②授業時間に見たほうが良い（13名）

・事前に見るのだと十中八九見てくるのを忘れる。

・不定期で見る機会を逃してしまうから。

・授業だと寝る人がいて、時間外だと見てこない人が一定数存在するから。授業時間に影響がなければ、授業中に見た方がリアルタイムで先生の解説を聞くことができる。

・学習をするのと同じにしっかりと理解した上で、流れ作業のように関連させて動画をみること、知識が身につくと思うから。

・家で見ると、ついとぼしてしまいそうだから。

・授業以外ではどうせ見ないから。

・その時に考えれるから。動画は寝ることはあまりないから。

・自分は授業中に見た方が集中できるから。時間外にしてしまうと手を抜いてしまう気がする。

・口で説明するよりも動画のほうが見やすい。

・忙しいとなかなか時間外で視聴するのは難しいと思うから。視聴せずに来てしまう人が出てくるから。

・時間外だと見ないこともありうるから。後で見直すために moodle にあげてもらえると嬉しい。

・時間外にはきっと見ないと思う。後期は前の授業がスポーツだったので眠くなってしまいました。

・授業時間外だと見ない学生のほうが多い。授業内で学生に動画を見せる工夫次第だと思う。ワークシートも成績の 30~40% を占めても良いのではないかな？

③どちらとも言えない（3名）。

・わかりやすい点もあったが、寝てしまう人が多いのであれば、先生の判断で変更していいと思う。

・授業で見ないと授業内容が理解できなときもある。しかし、動画ばかりだと寝てしまう。

・人それぞれによって違う。

3) 授業で改善してほしいこと（自由記述）。

・教科書の水文学のページが良く分からなかった。

・最初にビデオだと内容がわからずねむくなる。

・配布資料の穴埋めの確認と解説だけでなく、 $\alpha$  の情報が知りたい。

・話し合いをしたら眠たさが減ると思った。

・穴埋めのところで教科書で見つからないところがあった。

・ノートをとるなどしたかった。ノートをとるような授業形式じゃないので、みんな寝ているのかなと思った。

・実際に外に見に行く活動があれば、もっと地理に親しめると思った。

・自分たちで意見を出し合って考える機会がなかったので、ずっと先生の話聞くのはどうしても眠くなってしまおうと思うので、発表や話し合いの場を作って欲しいと思いました。

・授業内に行ったメモや資料作成の成績評価をもう少し上げてもいいかなと思いました。

・宿題をもう少し増やして自宅学習したい。

・教科書をもっと使って欲しかった。

・テスト時に持ち込み可能な量を増やしてほしい。

・座学だけでなく、実際に外に出て、実物をみながら説明を受けるとわかりやすいかも。

・この授業が体育の次の授業にしないようにしてほしい。

・ワークシートの評価割合を増やすこと。

4) 「地域」「地理」の視点について

本授業を受講して「地域」や「地理」の視点で物事を見るようになったのかを問うた。

① 以前よりはっきり見るようになった。

2名

② 以前よりは見るようになった。

16名

③ 見るようになったとはいえない。

0名

5) 本授業についての自由記述

・ビデオはどれも興味深く、授業ではみないような内容だったので、とてもよかった。すべてのビデオが印象深く、よく覚えている。

・授業内容及び資料はとてもわかりやすかったです。

・楽しく授業を受けることができ、良かったです。

・フィールドワークなどすればいいかな、とは思った。

・今まで地理は好きではなかったのですが、高校でもさけて通ってきたけど、前より好きになれそうです。

・地図の作業を増やしてほしい。

### 3. 地域社会を核とした教育と研究のつながり

本授業では、地形的特徴と災害リスクの関係を理解し防災につなげるため、愛媛県で甚大な被害が発生した西日本豪雨を取り上げ、報告者の現地調査の成果を交えながら解説した。また、扇状地地形を地形図から読み取る作業には愛媛県西条市域を取り上げたり、日本における森林資源の現状や展望を学ぶ材料として、四国の CLT (Cross Laminated Timbers) を取材した動画資料を紹介した。

授業初回に受講生の出身地を（情報提供は強制せず拒否も可能であることをあらかじめ伝えた上で）アンケートで確認したところ、愛媛県外出身者が半数近くを占めていた。縁あって愛媛大学に入学した県外出身者に対しては愛媛の地理的特徴を理解することを、県内出身者に対しては理解を深めることを念頭に置きながら授業を進めた。この授業で身につけた知識として「愛媛の川の名前や位置」「愛媛県の地理についてたくさん知ることができた」と記載した学生がいたのは、その成果と思われる。